

心臓リハビリテーション



こんにちは、腎臓内科
の下村です。昨年12月よ
り、当院で心臓リハビリテ
ーション(心リハ)を開始い

たしました。腎臓内科の私ですが、大学院時代に予防医学研究の一環として心リハに従事しておりました。その際の経験を活かし、当院での心リハチームの立ち上げに関わっている経緯があります。チームは、リハビリ部の作業療法士の方、循環器内科のドクター、ICUの看護師さんと多職種の方々の協力のもと、入院されている循環器内科および心臓血管外科の患者様に心リハを行っております。

心リハという言葉は、あまり聞きなれない言葉かもしれませんが、日本ではもう20年以上前から行われていることでもあります。当初は、急性心筋梗塞や心臓手術後の方を対象とした急性期および回復期リハビリテーションを目的としてスタートしました。現在では、高齢者社会となり、心不全の方に対して、慢性期心臓リハビリテーションを行い、心不全の影響で日常生活の活動低下を余儀なくされている方に対して、家庭や社会に復帰できる慢性疾患に変化させる助けとなる役割をも担ってきています。

医療技術の進歩とともに、2010年現在、平均寿命は男性で79.55歳、女性で86.30歳と超高齢社会を迎え、一見すると医療は生命予後にはかなり貢献しているように見えます。しかし、一方で、健康寿命(元気に社会で活躍できる)は男性で70.42歳、女性で73.62歳であるというデータも存在し、ギャップが存在するのが実情です。これは、心臓病の方においても例外ではありません。この現状に心リハが介入することで、健康寿命を延長させることも期待されております。

さて、当院での心リハですが、開始から半年あまりで、かなりの方に、運動療法を中心とした心リ

下村 浩祐(腎臓内科医員)

ハを安全に行えております。社会復帰を目的とした心リハを行うことはもちろんのこと、高齢者の慢性心不全の方に対する心リハも行っております。今後も、病院内の様々な業種の方々に協力していただき、心臓リハビリテーションを行うことで、当院にかかってくる患者様の健康寿命を延ばす一助となることを目標として、微力ではありますが、貢献出来たらと考えております。

心臓リハビリテーションに少しでも興味関心がありましたら、お気軽にご相談ください。